

APCO

# Play for Two

REPORT: YUGO ARAI

「フライトが楽しい」と...APCOの求める目標は明快だ。軽快なハンドリング、先進のデザイン、マテリアル、そして耐久性を持ち、全てを高次元で融合させた「ヨーテンデム機 Play for Two」は、フライト時に余計な緊張感・不安感をいられることがなく、より多くの楽しさと喜びを与えてくれるだろう。

## 進化したタンデムグライダー

パラグライダーのトレーニングにおけるタンデムの有効性は、インストラクターたちの努力によって確立され、現在では必要不可欠なシステムとして定着し、観光タンデムフライトも世界中の工

リアで盛んに行われている。しかし、一般的のパイロットがタンデムを十分に楽しんでいるかとなると、まだ環境面等の整備も含めて不十分で少数のベテランパイロットに限られているのが現状だ。タンデムのセーフティーフライトに関して、パイロットにかかる責任は重大で、機材やパイロットの技量等、パラグライダーのタンデムフライトの本質はまだまだ奥が深いのである。

## 進化したタンデムグライダーで パッセンジャーと楽しい一時を!

現在、パラグライダー業界においてタンデムのカテゴリーはもともと注目される項目の一つであり、APCOにおけるタンデムパラグライダーも進化している。そのAPCOより、スクーリングはもとより、タンデムフライトに足を踏み入れた人々への贈り物ともいえるグライダープレイヤーがリリースされた。その魅力を紹介していく。

## 構造とマテリアル

キヤノピーにはV(ダイアゴナル)リブと横方向のテープが取り付けられ、これらの採用とラインフォームの変更により総ライン長(4.96m)はFiestat andem(5.70m)より短くなっている。ただしライン直径は全体的に太くなってしまっており、お馴染みのガルバノール、シリコンダブルコートティングクロスと合わせて未永く愛用される翼に仕上がってい

る。また、ケアラで成功したH-Tシスティ

ムが通常のインテーク上部のリーディングエッジ部分に合計で8カ所取り付けられている。これによってトリマーを使つた高速グライディング時や乱流等によるピッチング時、キヤノピーの内圧を確保し潰れを誘発しづらくしている。

さて、本来のPlay for Twoのグライダー特性はどうであろうか。まずはライズアップとライザーである。ライザーは40cmと短いにもかかわらず、無風時のライズアップは驚くほどスマーズで傾きにくく、まるでシングル機のライズアップのようだ。頭の真上近くで止まる感じだが、キヤノピーに合わせてブレーキ操作をし、そのまま走りだすとパイロットに追従して、加速しながらのテイクオフが可能である。

ライザーが短いのでボトムラインに

も簡単に手が届く。Big Ear(翼端折り)は一番前にある黄色で色分けされたスプリットAライザー引き込むだけで

よい。簡単な操作で長時間の翼端折りも行える。





モーターでのフライトも快適だ

今回は総飛行重量180kgで乗ってみたが、Play for Twoのトリム速度は思っていたより速く、APCO発表の38km/hは余裕でクリアーするだろ。グライダーの浮きも大変よく、スポーツグライダーとして十分な滑空性能が備わっている。また、荒れた「コンディションの中でも、H-T-Tシステムのおかげでかなり安心してトリマーを解放することができる。スピードも十分で、搭載重量も140~240kgと幅広く、いろんなパッセンジャーに対応できるのが嬉しい。これならモーターフライトにも十分に対応できる。

ではハンドリングはどうであろう。Play for Twoのロールコントロールは驚くほどシャープで、これまでのタンデムパラグライダーのイメージを一掃するものになっている。絶えず変

り、嬉しくなるモーターフライトにも十分に対応できる。

ではハンドリングはどうであろう。Play for Twoのロールコントロールは驚くほどシャープで、これまでのタンデムパラグライダーのイメージを一掃するものになっている。絶えず変

り、嬉しくなるモーターフライトにも十分に対応できる。

Play for Twoのトリム速度は明らかに速いが、低速が良く効き、ターンの入りも早いのでファイナルターンをコードイニエートしやすい。もちろんタンデムフライトにおいてパイロットにかかる責任は重大である程度の技量と経験が必要となってくるが、Play for Twoなら上限の重量や、パラモーターでのフライトでも簡単にランディングを決めることができる。

オプションのタンデムスプレッダーパークは軽量のパッセンジャーやモーターフライトにも対応できるようライザーのフックポイントが2カ所になっている。軽量パッセンジャー

より進化したコントロール性はタンデムフライトをより楽しくしてくれる



## Play for Two DIMENTIONS

サイズ	
翼面積(投影)m <sup>2</sup>	42
翼面積(実測)m <sup>2</sup>	35.4
スパン(投影)m	42
スパン(実測)m	12.1
アスペクト比(投影)	14.6
アスペクト比(実測)	4.1
コードルートm	5.1
コードチップm	3.47
セル数	0.66
飛行重量kg	46
機体重量kg	140~240
飛行速度km/h	8.4
トリムスピードkm/h	23~45+
最小沈下率m/s	38
安全規格(AFNOR)	1.1
価格(税込)	Tandem
	¥483,000

製造元:APCO/イスラエル

輸入・販売元:株式会社ラ・ムエッティ

〒300-2713 茨城県結城郡石下町収納谷281

電話:0297-43-0350

FAX:0297-43-0370

URL:<http://member.nifty.ne.jp/jlm/>

E-MAIL:japanlamouette@mba.nifty.com

## 安心・快適フライト

「B」と書かれたテープが縫い込まれている。ライザーにはこの他にスピード(ピッチ)コントロール用のトリマーとB、トル用のハンドルが取り付けられている。

化するサーマル内でのセントラリングでも、旋回半径を微妙に変えながらのコントロールが容易にできる。ピッチコントロールによるトレーディングエッジの変化は、始めに翼中央から引かれてくる。

このことにより翼中央部の迎角だけを変化させて、安定性を保つたまま沈下率を小さくしている。ハーフブレーキから後半は、翼端のトレーディングエッジが絞りこまれる様に奇麗に翼形を変化させているので、かなりの低速域まで少ない沈下率で安定を保っている。

パイロットが操縦した分だけ滑らかに反応してくれることは当たり前のことはあるが、Play for Twoの進化したコントロール性はタンデムフライトへの好奇心を彷彿とさせてくれる。

Play for Twoのグラ

ダーバッグは通常のバッグかクリンチ

バッグのいずれかを指定することができます。クリンチバッグは少し大型で、ティ

クオフまでアクセスが良いエリアでの仮

収納やモーターフライトにとても便利

である。

モーターフライトでは後ろのフックポイ

ントにライザーをセットする。さらに

パッセンジャー側のフックポイントも上

下2カ所あり、体重差によってチョイス

できる。

Play for Twoは安全基準AFN

OR Tandemを取得している。

また、Play for Twoのグラ

ダーバッグは通常のバッグかクリンチ

バッグのいずれかを指定することができます。クリンチバッグは少し大型で、ティ

クオフまでアクセスが良いエリアでの仮

収納やモーターフライトにとても便利

である。

レスキュー・パラシュー

レスキュー・パラシューはタンデム専

用のものを使用しよう。

APCO社の優れた技術と、製品管理

から生まれたタンデムレスキュー・パ

ラシューは安定性、開傘速度、沈下速度

マテリアルのいずれも大変優れてい

る。

※タンデムスプレッダーパー

ーはオプ

ション:

12600円(消費税込)

Maydayタンデム:

136500円(消費税込)



低速がよく効くため、ランディングも楽にできる

## ●期間限定の特別価格●

Play for Twoのリリースを記念して、4月中にご注文頂いた方に限り特別価格でご提供します。ただし、納期は2ヶ月ほど頂くことになります。

Play for Two:420,000円(消費税込)

Maydayタンデム:105,000円(消費税込)